

I. 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

- お互いに説明し合うことで活用力を伸ばし、授業を通して子どもたちのつながりづくり。
- 子どもたちの「学びに向かう力・人間性」を育て、豊かな考え方を身につけ、確かな学力をつける授業づくり

1. 「いつま小学校 学習の手引き」等の徹底による共通理解

- (1) 「2021年度 いつま小学校 学習の手引き」(右図→) 全校統一した基本的な学習規律、学習態度等の徹底
- (2) 学習規律(年度ごとに見直す)
 - ①用具 ②授業の始め ③授業中 ④授業の終わり ⑤授業後
- (3) ノートについて
 - ①ノートのとり方 ②使用ノートの目安
- (4) 教科書類の持ち帰り等



学年	小学生	中学生	高校生
指導方針	指導方針「あでばこ」 CHECK1の指導で、 (※以上を4-5年制から である。※・発声練習、 定規、黒しご、ノー ムペン) ※以上、3日は書写で使 用する。 ・消しゴムは、よく消え るものを使う。書りつ まなすペン(2)のみの 使用は、学校の学習に 不適当でない。	指導方針「あでばこ」 CHECK2の指導で、 (※以上を4-5年制から である。※・発声練習、 定規、黒しご、ノー ムペン) ※以上、3日は書写で使 用する。 ・消しゴムは、よく消え るものを使う。書りつ まなすペン(2)のみの 使用は、学校の学習に 不適当でない。	指導方針「あでばこ」 CHECK3の指導で、 (※以上を4-5年制 からである。※・書 写練習、定規、消し ゴム、ノームペン) (※以上、※・発声練 習(1)・(2)のみ) ・シェンブッシュの活 字は、必ず社会科 書法を、 ・文房具 ・鉛筆に慣れ、

2. 『学び合い』を取り入れた授業への取組

- (1) 課題の工夫＝「考えたい」「わかりたい」「説明したい」
- (2) 課題解決の方法＝効果的な交流の仕方＝対話的学び
- (3) 教師の出番、助言・言葉かけの工夫
- (4) ICT 機器の効果的な活用(AIドリル・ロイロノート等)

「学習のきまり」などの基本事項の徹底



(5年 AI ドリルの活用)



(56年合同算数授業)

3. 小規模校の特色を活かした「ファミリー班(たてわり班)」活動

- (1) 異学年による「学び合い確かめ合う学習」の取組
- (2) 人間関係づくりのための「なかよしタイム」の取組



(6年「算数」学び合い活動)



(34年合同なかよしタイム)

II. 家庭・地域との協働

1. 学校・PTA との連携

- (1) 「親子読書」の取組(一冊の本を親子で読み、互いに感想を交流する)
- (2) 「親子作文」の取組(子どもの書いた日記を保護者が添削し、感想を記す)
- (3) 取組成果の広報(PTA 広報部による広報紙の発行)



(「親子日記」を掲載した PTA だより)

2. 学校・地域との連携

- (1) 地域に伝わる「くにち」の特別講座の取組等(校区内の各地域の人々を講師として迎え学ぶ)
- (2) 体験学習の取組(地域の方から果実の採取から食品加工を学ぶ等)
- (3) 地域貢献への取組(育成した花の配布、老人介護施設への訪問等)



(6年「くにち」を学ぶ)



(12年桑の実ジャムづくり)



(123年「喜楽苑」訪問)



(地域へ花をお届け)